



チャイルドが暮らす地域のご紹介

World Vision
この子を救う。未来を救う。

MYA-176922

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が、子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていくことを支援するプログラムです。チャイルドが暮らす地域と、現地でワールド・ビジョンが実施している開発プログラムについてご紹介します。

国情報



ミャンマー連邦共和国

東南アジアに位置し、中国、ラオス、タイ、インド、バングラデシュと国境を接し、南西部はインド洋に面しています。1988年から軍事政権による統治が続いていましたが、2011年に文民政権が発足し、民主化と経済改革への取り組みが行われています。約5,000万人の人口のうち、ビルマ族が約70%を占めますが、多くの少数民族も暮らしています。仏教徒が多数を占めますが、キリスト教徒、イスラム教徒もあり、公用語はミャンマー語です。



出典：外務省

地域情報

タバウン地域開発プログラム (MYA-176922)

支援期間：2003年～2024年*

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

旧首都のヤンゴンから西に約180キロ、車で約6時間の場所に位置するエーヤワディー管区タバウン郡区にてプログラムを実施しています。タバウン地区はミャンマーの南西部、イラワジ川のデルタ地帯にあります。州都のパテインからそれほど遠くないにもかかわらず、陸路の交通手段が未発達な上、雨期には地域の半分以上が川の水位の上昇のため冠水し、住民はボートによる移動を余儀なくされます。ミャンマー全土では、ビルマ族が多数派ですが、タバウン地域ではビルマ族とカレン族が主流です。



地域の課題



地域で一般的な高床式民家。雨期には床下まで増水します



雨期には土の道はぬかるみ、通学が困難になります



教育

経済的事情で学校に通えない

子どもたちが多い



保健衛生

5歳未満の**低体重児**の割合 約**44%***

*2014年時点



経済開発

貯蓄をしていない世帯の割合 約**57%***

*2017年時点



教育

支援地域にある学校の校舎の多くは整備が不十分です。雨期には道路が冠水して通学が難しくなることもあります。ミャンマーには義務教育制度がなく、初等教育（幼児教育1年間を含む5年間）は無料ですが、教科書や制服、文房具などは購入する必要があり、中等教育以降は有償です。このため、経済的事情から学校に通えない子どもたちも多くいます。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 小学校の校舎の改修、机・イスの整備、トイレの設置
- 就学前教育センターを設置し、小学校入学に備えた幼児教育を実施
- 地域住民を対象とした、教育の重要性に関する啓発活動
- 貧しい家庭の中学生を対象とした、学費・交通費・寄宿費用の補助
- 正規の学校に通えない子どもたちのための非公式学校の設置



子どもたちが質の高い教育を継続的に受けることができるよう支援します



保健衛生

トイレの普及率が低く、安全な水源から水を得ることが課題であり、下痢や感染症が拡大する原因のひとつとなっています。住民の間で基本的な保健衛生に関する知識が不足していることもその背景にあります。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 雨水を飲用水として使用するためのろ過装置の設置支援
- 手洗いや歯磨きなど衛生的習慣についての啓発活動
- 家庭用トイレの設置支援



母親たちが知識を身に付けることで子どもたちの健康状態が改善します



経済開発

頻発する洪水のために農産物の収穫量が少なく、収入も少ないのが課題です。また、将来に備えて貯蓄をする習慣が根付いておらず、いざという時に借金に頼らざるを得ない世帯が少なくありません。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- やせた土地でも育つ作物の導入と、付加価値を高めるための加工技術の支援
- 家畜飼育や菜園などの農業技術研修
- 貯蓄グループの設立と運営支援



貯蓄により将来に備えることができるよう促します



支援はチャイルドの生活を変える力となります

ハン君の両親は、4人の子どもたちを学校に通わせるために懸命に働いていましたが、どうしてもお金が足りず、田畑を担保に高利貸しから150ドルを借りました。返済期限は3年でしたが、2年を過ぎた時点で返済の目処が立っていませんでした。

そんな時、ワールド・ビジョンの支援により豚の飼育方法を学び、メス豚も提供してもらって養豚を始めました。そして生まれた子豚を販売して得た現金で、無事借金を返済することができ、田畑を取り戻すことができました。両親の収入が安定したため、ハン君は高校へ進学するという目標に向けて勉強に励んでいます。

ワールド・ビジョンは、ハン君のような子どもたちが希望を持って成長していくために、支援活動を行っています。